

# インフルエンザニュース

東京都立衛生研究所

平成12年インフルエンザ標語

**「インフルエンザ。かかる前に予防。こじらす前に治療。」**

年の瀬を迎え何かとあわただしさが感じられる今日この頃ですが、現在までのところインフルエンザ様疾患の報告数は、それほど増加しておりません。

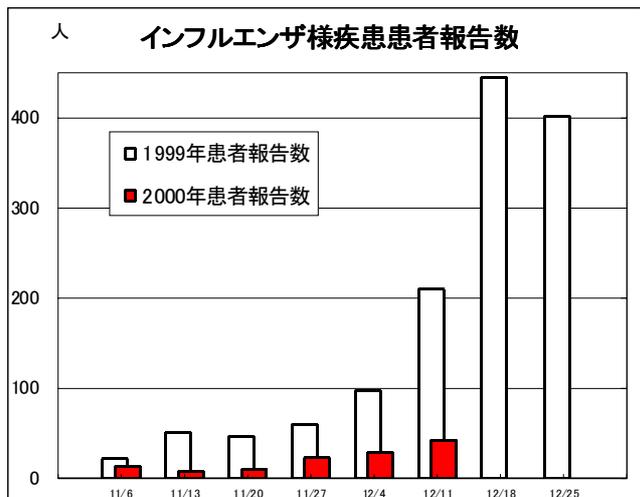
インフルエンザニュース第4号では、

1. 平成12年12月17日現在までのインフルエンザ様疾患患者発生状況
2. 平成12年12月18日現在までの学級閉鎖状況
3. インフルエンザの治療薬
4. インフルエンザウイルス迅速診断キットについて掲載しました。

## 1. インフルエンザ様疾患患者発生状況

昨年と今年のインフルエンザ様疾患の患者発生数をグラフと同時に一覧表にしました。今後とも随時患者数を報告してまいります。

図-1 インフルエンザ様疾患の患者発生数



国立感染症研究所感染症情報センターの2000年12月20日現在報告分の病原体情報などによれば、全国のインフルエンザウイルスの今シーズンの分離・検出報告は、インフルエンザA/香港型ウイルスが広島県、愛知県、大阪府、埼玉県および兵庫県から計6件、静岡県からA/ソ連型ウイルスが1件報告されています。また、静岡県ではインフルエンザB型も1件検出されています。

東京都のインフルエンザウイルスについての検出情報は、毎週金曜日に発行される「インフルエンザウイルス検査情報」

をご覧ください。12月26日現在「インフルエンザウイルス検査情報」はNo.5まで発行されています。

東京都週報の発生動向総覧「病原体情報」でも、その週に検出されている特徴的な病原体情報を掲載していますが、現在のところ上・下気道炎や咽頭炎からアデノウイルスやRSウイルスが検出されています。

表-1 インフルエンザ様疾患患者報告数比較 (1999年~2000年春の昨シーズンと今季)

月日	11月				11月計	12月				12月計	1月				
	1週	2週	3週	4週		1週	2週	3週	4週		1週	2週	3週	4週	5週
今シーズン	14	8	10	23	55	29	43			72					
昨シーズン	22	51	47	60	180	98	210	445	402	1155	818	1167	2562	3864	3903

## 2. 学級閉鎖状況

12月中旬に入り、中学校での学級閉鎖が報告されてきました。

月	幼稚園		小学校		中学校	
	園数	組数	学校数	学級数	学校数	学級数
10月計	0	0	1	2	0	0
11月計	1	1	2	2	0	0
12月計	1	1	2	3	1	1
合計	2	2	5	7	1	1

(平成12年12月25日現在教育庁報告) 組・学級数は延数

## 3. インフルエンザの治療薬

厚生省は平成10年11月、「塩酸アマンタジン」をA型インフルエンザウイルス感染症の治療薬として承認しました。

「塩酸アマンタジン」は、従来パーキンソン病症候群や脳梗塞<sup>のうこうそく</sup>の後遺症治療に用いられてきた薬剤です。しかし、インフルエンザの治療に用いる場合は耐性ウイルスの出現や、幻覚、不眠といった副作用があるため、投薬は16歳以上といった制限があります。

平成11年12月に承認されたA型およびB型のいずれのインフルエンザにも有効な「ザナミビル水和物」が今年の12月8日に発売されました。ただし、「塩酸アマンタジン」が健康保険の適用薬剤になっているのに対し、「ザナミビル水和物」にはまだ保険が適用されません。

この薬剤も頭痛・下痢・嘔声といった副作用があり、16歳以上にのみ投薬が可能ですが、耐性ウイルスが出現しにくい特徴を持っています。

いずれの治療薬も発症後48時間以内に投与した場合に有効性が高いとされています。

## 4. インフルエンザウイルス迅速診断キットについて

インフルエンザウイルスは大きく分けてA型、B型とC型の3種類に分類されます。冒頭で今シーズンのインフルエンザウイルスの分離検出状況について触れましたが、子供や老人に重篤なダメージを与えるウイルスはA型とB型です。また、この時期インフルエンザによく似た症状を呈するアデノウイルスやRSウイルスによる感染も知られています。

インフルエンザの治療薬が承認・販売されましたが、これらの薬剤のより有効な使用には、早期にインフルエンザと診断することが重要です。これには、迅速診断キットが役立ちます。

インフルエンザウイルスの迅速診断キットには大きく分けて2種類あります。A型インフルエンザウイルス抗原だけを検出するものと、A型かB型か区別できないが両方の抗原を同時に検出するタイプです。検出原理はEIA（酵素免疫測定）法で、検査に要する時間は15分から20分で判定でき、検体には鼻腔吸引液、鼻腔ぬぐい液、咽頭ぬぐい液を用います。

### インフルエンザウイルス迅速診断キット一覧

迅速診断キット名	ディレクティジェン FluA	インフルエンザ OIA	インフル A-クイック
検出ウイルス	A型抗原	A及びB型抗原 (ABの区別不可)	A型抗原

## 5. インフルエンザの予防とインフルエンザにかかった時の注意

### ・インフルエンザの予防には

- ・流行時期には人混みをさけましょう。
- ・疲労や睡眠不足は禁物です。
- ・室内は、適度な温度と湿度の維持を心掛けましょう。
- ・バランスの良い食事を摂るように、気を配りましょう。
- ・外出時のマスク、帰宅時のうがいや手洗いは忘れずに。
- ・インフルエンザの予防接種は、かかりつけ医と相談しましょう。

### ・インフルエンザにかかったら

- ・単なるかぜと軽く考えず、早めに医療機関で受診し、治療を受けましょう。
- ・安静と休養が肝心です。睡眠は十分に。
- ・部屋の湿度を保ちましょう。乾燥するとインフルエンザにかかりやすくなります。
- ・水分は十分に補給しましょう。お茶、ジュース、スープなど飲みたいものでかまいません。

### 【インフルエンザ相談ホットライン】

開設時期：

平成12年11月6日～平成13年3月16日迄

対応日時：月曜日～金曜日（祝日除く）

9：00～17：00

電話番号：03-5285-1231

FAX番号：03-5285-1233

e-mail：[influenza@nih.go.jp](mailto:influenza@nih.go.jp)

下記にインフルエンザに関連するホームページ一覧を掲載しました。ご利用下さい。

厚生省ホームページ：

<http://www.mhw.go.jp>

国立感染症研究所

感染症情報センターホームページ：

<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

インフルエンザホームページ：

<http://influenza-mhw.sfc.wide.ad.jp/>

### 【東京都立衛生研究所から】

検査定点医療機関から送付されるインフルエンザ様疾患やインフルエンザの病原体ウイルスの確定は、1週間以内で行っています。

編集・発行 東京都立衛生研究所

〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

事務局 微生物部疫学情報室

Tel：03-3363-3213

Fax：03-5332-7365

e-Mail：[idsc@tokyo-eiken.go.jp](mailto:idsc@tokyo-eiken.go.jp)

URL：[www.tokyo-eiken.go.jp/IDSC/](http://www.tokyo-eiken.go.jp/IDSC/)



古紙配合率70%再生紙を使用しています